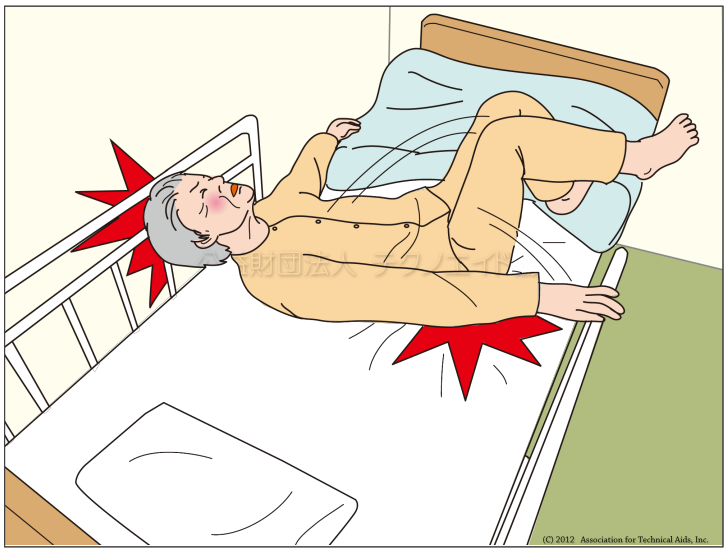
Case：200

座った時にバランスを崩し、後方へ転倒しそうになる

場面の説明

勢いよく座ったところ、反動で姿勢が保てず後方にひっくり返ってしまった



利用シーン	起居・就寝 立ち座り
主な利用場所	寝室
介護保険の種目	特殊寝台
分類コード (CCTA95)	181209 (電動ギャッチベッド)
介護テクノロジー	ー
二次元バーコード	

解説

座る動作では、お辞儀をするように頭を下げながら臀部をゆっくりとおろしていくことが基本ですが、股関節が固くなった高齢者では、バランスがうまくとれずに後方へ倒れこんでしまうことがあります。ベッドでは、高さや手すりの有無、マットレスの固さなどが影響しますので、利用者の動作の観察から必要性を判断し、安全な環境を整えることが大切です。

参考要因（要因の例であり、これだけが正解ということではありません）

人：勢いよく座ってしまった
人：立位や座位を保てる体力がなかった
モノ：柔らかめのマットレスだった
モノ：ベッド用手すりを利用していなかった
環境：ベッド回りの手すりなどの環境と本人の移乗能力の適合の判断ができる人が周囲にいなかった

Copyright 2025 Association for Technical Aids, Inc. All Rights reserved.

福祉用具ヒヤリハット　研修教材（受講者用）

日付：	所属：	氏名：

Case：200

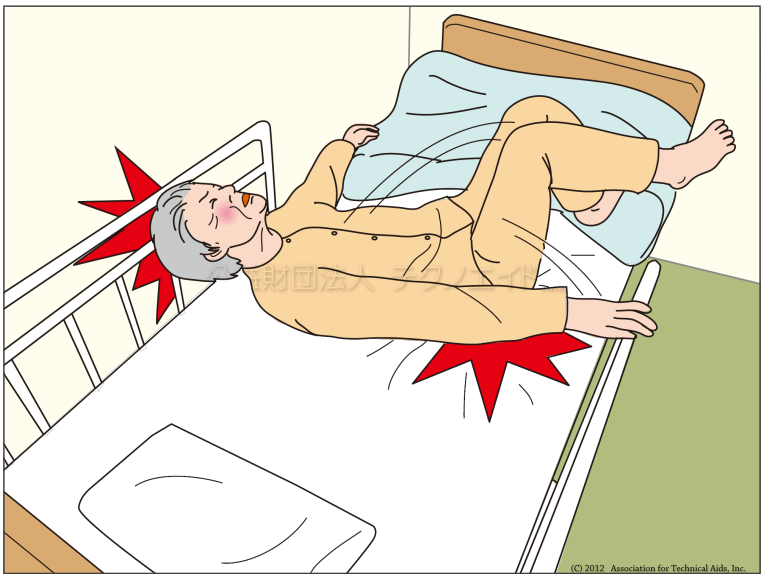
座った時にバランスを崩し、後方へ転倒しそうになる

事例詳細

回答前に見ないこと

場面の説明

勢いよく座ったところ、反動で姿勢が保てず後方にひっくり返ってしまった



どのような要因が考えられますか？	どのような対策が必要でしょうか？
人（本人・介護者・関係者）の要因	
モノ（福祉用具）の要因	
環境の要因	
管理の要因	

メモ

Copyright 2025 Association for Technical Aids, Inc. All Rights reserved.